

最近の感染状況等について

令和3年1月7日(木)
厚生労働省

新型コロナウイルス感染症の発生状況

【国内事例】括弧内は前日比

※令和3年1月6日24時時点

	PCR検査 実施人数(※3)	陽性者数	入院治療等を要する者		退院又は療養解除と なった者の数	死亡者数	確認中(※4)
				うち重症者			
国内事例(※1,※5) (チャーター便帰国 者を除く)	4,787,679 (+73,967)	256,412 (+5,946)※2	43,423 (+2,515)	796 (+12) ※6	208,621 (+3,409)	3,790 (+72)	1,068 (+159)
空港検疫	416,785 (+1,714) ※7	1,966 (+7)	150 (+4)	0	1,815 (+3)	1	0
チャーター便 帰国者事例	829	15	0	0	15	0	0
合計	5,205,293 (+75,681)	258,393 (+5,953)※2	43,573 (+2,519)	796 (+12) ※6	210,451 (+3,412)	3,791 (+72)	1,068 (+159)

- ※1 チャーター便を除く国内事例については、令和2年5月8日公表分から（退院者及び死亡者については令和2年4月21日公表分から）、データソースを従来の厚生労働省が把握した個票を積み上げたものから、各自治体がウェブサイトで公表している数等を積み上げたものに変更した。
- ※2 新規陽性者数は、各自治体がプレスリリースしている個別の事例数（再陽性例を含む）を積み上げて算出したものであり、前日の総数からの増減とは異なる場合がある。
- ※3 一部自治体については件数を計上しているため、実際の人数より過大となっている。件数ベースでウェブ掲載している自治体については、前日比の算出にあたって件数ベースの差分としている。前日の検査実施人数が確認できない場合については最終公表時点の数値との差分を計上している。
- ※4 PCR検査陽性者数から入院治療等を要する者の数、退院又は療養解除となった者の数、死亡者の数を減じて厚生労働省において算出したもの。なお、療養解除後に再入院した者を陽性者数として改めて計上していない県があるため、合計は一致しない。
- ※5 国内事例には、空港検疫にて陽性が確認された事例を国内事例としても公表している自治体の当該事例数は含まれていない。
- ※6 一部の都道府県における重症者数については、都府県独自の基準に則って発表された数値を用いて計算しており、集中治療室（ICU）等での管理が必要な患者は含まれていない。
- ※7 空港検疫については、令和2年7月29日から順次、抗原定量検査を実施しているため、同検査の件数を含む。なお、空港検疫の検査実施人数等については、公表日の前日の0時時点で計上している。

【上陸前事例】括弧内は前日比

	PCR検査陽性者 ※【 】は無症状病原体保有者数	退院等している者	人工呼吸器又は集中治療室 に入院している者 ※4	死亡者
クルーズ船事例 (水際対策で確認) (3,711人) ※1	712※2 【331】	659※3	0※6	13※5

- ※1 那覇港出港時点の人数。うち日本国籍の者1,341人
- ※2 船会社の医療スタッフとして途中乗船し、PCR陽性となった1名は含めず、チャーター便で帰国した40名を含む。国内事例同様入院後に有症状となった者は無症状病原体保有者数から除いている。
- ※3 退院等している者659名のうち有症状364名、無症状295名。チャーター便で帰国した者を除く。
- ※4 37名が重症から軽～中等症へ改善(うち37名は退院)
- ※5 この他にチャーター便で帰国後、令和2年3月1日に死亡したとオーストラリア政府が発表した1名がいる。
- ※6 新型コロナウイルス関連疾患が軽快後、他疾患により重症の者が1名いる。

都道府県別新規陽性者数（報告日別）（空港検疫、チャーター便、クルーズ船案件を除く）

報告日	12月24日	12月25日	12月26日	12月27日	12月28日	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	1月4日	1月5日	1月6日	直近 2 週間の合計			増減率	直近 1 週間合計 (人口10万対)	全期間の 合計	
																12月24日から 12月30日まで	12月31日から 1月6日まで				
全 国	3,777	3,932	3,698	2,942	2,388	3,601	3,867	4,486	3,239	3,045	3,130	3,311	4,899	5,946	52,261	24,205	28,056	1.16	22.24	257,615	全 国
北海道	123	97	161	85	94	87	133	167	98	77	68	93	79	115	1,477	780	697	0.89	13.28	13,972	北海道
青 森	4	7	8	6	10	15	6	23	10	4	10	10	7	14	134	56	78	1.39	6.26	537	青 森
岩 手	5	5	10	9	7	1	2	3	4	2	3	0	6	2	59	39	20	0.51	1.63	402	岩 手
宮 城	48	48	56	39	28	39	34	26	30	4	20	18	37	52	479	292	187	0.64	8.11	2,353	宮 城
秋 田	1	8	10	2	1	6	4	4	3	0	3	3	8	2	55	32	23	0.72	2.38	159	秋 田
山 形	11	13	5	3	3	9	4	5	3	1	6	5	5	10	83	48	35	0.73	3.25	417	山 形
福 島	19	43	21	21	10	11	17	20	12	13	14	25	25	40	291	142	149	1.05	8.07	1,073	福 島
茨 城	39	27	27	27	31	43	37	28	42	20	52	32	67	71	543	231	312	1.35	10.91	2,730	茨 城
栃 木	24	35	42	28	31	83	56	73	56	56	72	69	111	132	868	299	569	1.90	29.42	1,975	栃 木
群 馬	43	53	37	38	21	29	56	37	24	42	31	37	44	59	551	277	274	0.99	14.11	2,552	群 馬
埼 玉	251	298	265	211	184	300	244	330	221	213	205	243	369	394	3,728	1,753	1,975	1.13	26.87	15,960	埼 玉
千 葉	286	299	59	106	175	217	239	230	144	237	225	196	261	311	2,985	1,381	1,604	1.16	25.63	12,463	千 葉
東 京	888	884	949	708	481	856	944	1337	783	814	816	884	1278	1591	13,213	5,710	7,503	1.31	53.90	66,362	東 京
神 奈 川	495	466	480	343	334	395	432	588	470	382	365	412	622	591	6,375	2,945	3,430	1.16	37.29	24,109	神 奈 川
新 潟	15	14	17	2	0	15	12	8	5	10	10	7	10	20	145	75	70	0.93	3.15	605	新 潟
富 山	21	10	1	3	6	0	3	9	5	9	3	14	14	0	98	44	54	1.23	5.17	606	富 山
石 川	18	12	12	12	6	10	14	7	13	13	8	14	20	12	171	84	87	1.04	7.64	1,152	石 川
福 井	1	4	2	1	2	2	3	2	0	4	0	1	2	14	38	15	23	1.53	2.99	376	福 井
山 梨	7	6	3	7	12	10	13	8	8	5	7	17	17	19	139	58	81	1.40	9.99	644	山 梨
長 野	10	17	17	21	3	11	23	20	23	11	25	18	44	50	293	102	191	1.87	9.32	1,355	長 野
岐 阜	56	38	45	45	45	74	67	83	56	36	58	52	98	102	855	370	485	1.31	24.41	2,694	岐 阜
静 岡	38	28	31	24	12	27	46	27	36	42	29	34	34	87	495	206	289	1.40	7.93	2,948	静 岡
愛 知	270	265	265	216	122	235	294	239	193	158	185	152	273	364	3,231	1,667	1,564	0.94	20.71	17,898	愛 知
三 重	11	11	13	14	12	11	25	18	6	14	13	15	30	33	226	97	129	1.33	7.24	1,402	三 重
滋 賀	16	28	49	25	14	26	27	21	24	23	38	37	24	50	402	185	217	1.17	15.35	1,378	滋 賀
京 都	107	121	135	94	59	84	96	109	103	83	89	76	102	119	1,377	696	681	0.98	26.36	5,381	京 都
大 阪	289	294	299	233	150	302	307	313	262	258	253	286	394	560	4,200	1,874	2,326	1.24	26.40	32,076	大 阪
兵 庫	152	232	175	165	108	193	188	193	128	104	98	118	222	248	2,324	1,213	1,111	0.92	20.33	10,945	兵 庫
奈 良	33	30	31	37	30	23	30	38	36	36	31	22	30	24	431	214	217	1.01	16.32	2,154	奈 良
和 歌 山	0	1	3	2	2	2	7	9	13	11	12	9	17	18	106	17	89	5.24	9.62	699	和 歌 山
鳥 取	0	5	3	8	6	10	7	1	0	4	4	2	9	15	74	39	35	0.90	6.29	154	鳥 取
島 根	3	1	4	8	3	3	0	0	2	4	1	0	1	1	31	22	9	0.41	1.34	217	島 根
岡 山	27	31	28	21	19	23	32	23	27	23	27	33	51	59	424	181	243	1.34	12.86	1,583	岡 山
広 島	102	141	105	89	50	88	84	87	73	76	70	49	75	78	1,167	659	508	0.77	18.12	3,741	広 島
山 口	8	9	13	8	13	24	11	15	2	3	5	12	23	8	154	86	68	0.79	5.01	641	山 口
徳 島	0	1	0	0	0	0	1	2	1	0	0	2	5	10	22	2	20	10.00	2.75	216	徳 島
香 川	27	7	8	9	6	8	5	3	2	2	3	4	8	14	106	70	36	0.51	3.77	337	香 川
愛 媛	7	9	9	8	16	14	12	8	6	6	7	9	25	23	159	75	84	1.12	6.27	542	愛 媛
高 知	19	12	14	8	8	8	12	9	6	7	11	2	7	4	127	81	46	0.57	6.59	700	高 知
福 岡	149	143	160	137	142	151	189	190	158	124	105	128	187	316	2,279	1,071	1,208	1.13	23.67	9,985	福 岡
佐 賀	9	6	4	2	5	7	7	4	1	5	3	23	10	11	97	40	57	1.43	6.99	521	佐 賀
長 崎	35	26	19	29	18	27	15	29	20	28	30	24	55	43	398	169	229	1.36	17.26	855	長 崎
熊 本	31	80	25	31	37	55	44	32	30	26	22	34	64	69	580	303	277	0.91	15.85	2,106	熊 本
大 分	9	7	14	3	19	15	13	22	11	11	9	10	16	26	185	80	105	1.31	9.25	772	大 分
宮 崎	7	10	11	4	13	4	12	18	26	30	30	32	38	80	315	61	254	4.16	23.67	993	宮 崎
鹿 児 島	15	9	17	20	19	8	13	10	15	2	27	12	22	13	202	101	101	1.00	6.30	1,107	鹿 児 島
沖 縄	48	41	36	30	21	40	47	58	48	12	27	36	53	72	569	263	306	1.16	21.06	5,619	沖 縄
その他 (※2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	149	その他 (※2)

※ 1 過去分の報告があった県については、報告日別に過去に遡って計上した

※ 2 その他は、長崎県のクルーズ船における陽性者数

※ 3 人口10万対の人数は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口（総務省）により算出している

※ 4 各都道府県における報告日別は、次のとおり色分けをしている
100以上：赤、50～99：橙、10～49：黄

※ 5 二重下線は、各都道府県における過去最多新規陽性者数（報告日別）

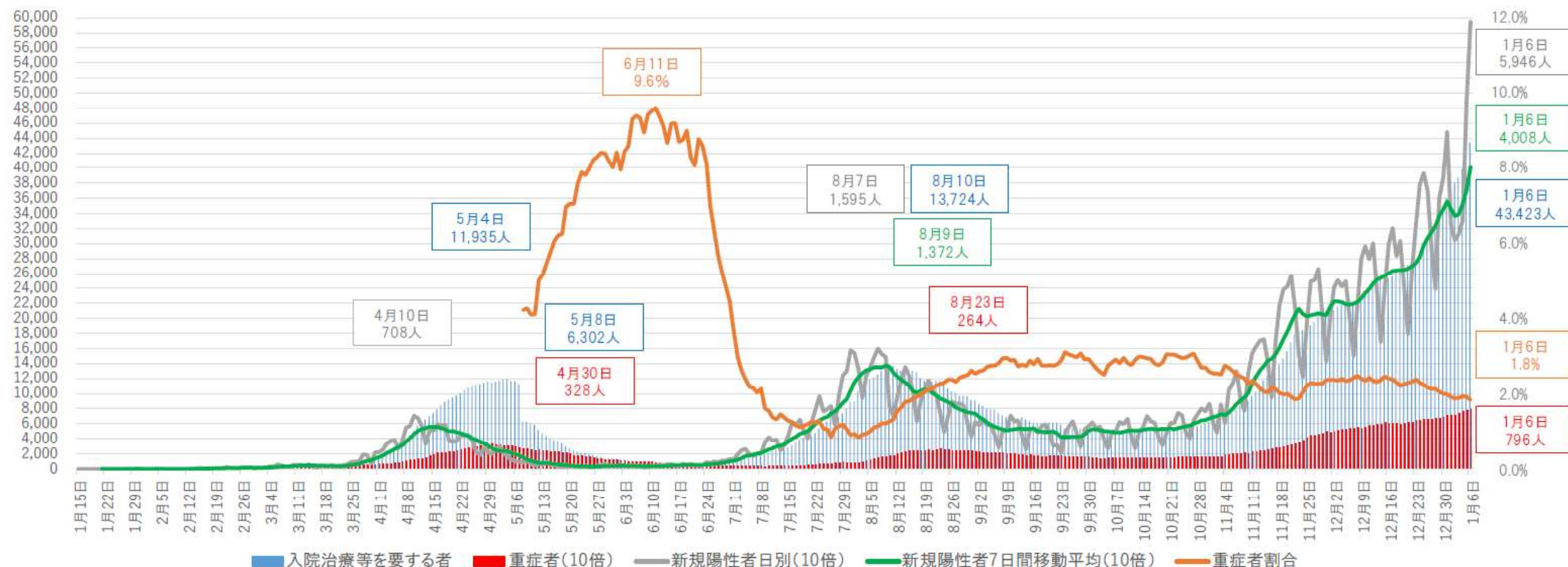
※ 6 直近1週間合計（人口10万対）は、次のとおり色分けしている
10以上：赤、1～10：橙、0.5～1.0：黄

増減率が1より大きく、直近 1 週間合計が1以上の都道府県数	感染者数ゼロの都道府県数
29	0

入院治療等を要する者・重症者・新規陽性者数等の推移

入院治療等を要する者・重症者・新規陽性者（人）

重症者割合（％）



※1 チャーター便を除く国内事例。令和2年5月8日公表分から、データソースを従来の厚生労働省が把握した個票を積み上げたものから、各自治体がウェブサイトで公表している数等を積み上げたものに変更した。

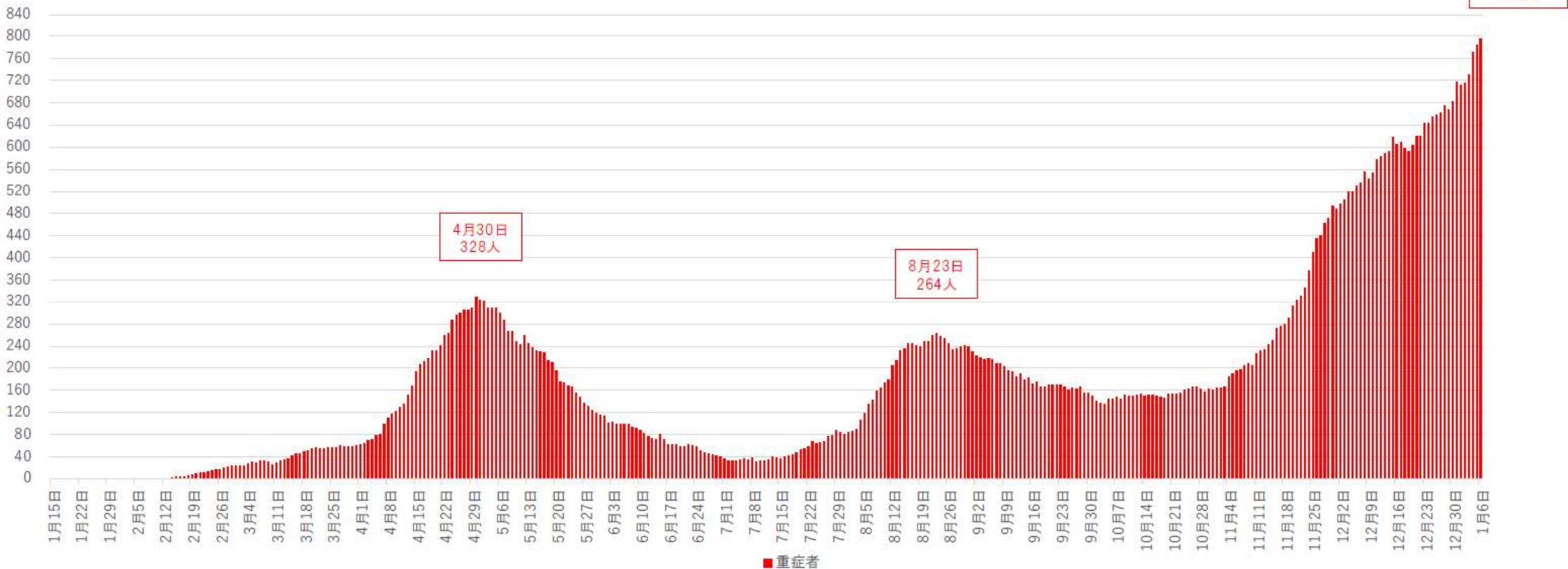
※2 重症者割合は、集計方法を変更した令和2年5月8日から算出している。重症者割合は「入院治療等を要する者」に占める重症者の割合。

※3 入院治療等を要する者・重症者と新規陽性者は表示上のスケールが異なるので（新規陽性者及び重症者数は10倍に拡大して表示）、比較の場合には留意が必要。

※4 一部の都道府県においては、重症者数については、都道府県独自の基準に則って発表された数値を用いて計算しており、集中治療室（ICU）等での管理が必要な患者は含まれていない。

重症者の推移

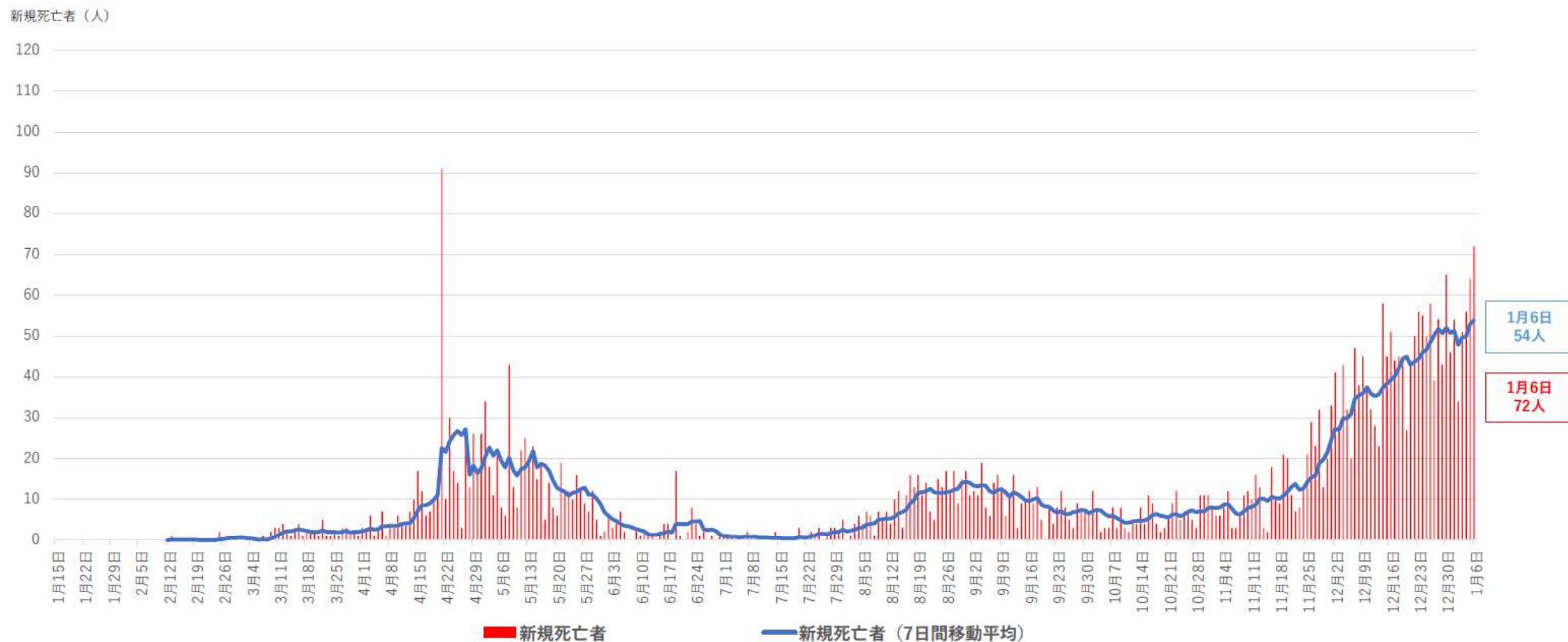
重症者（人）



※1 チャーター便を除く国内事例。令和2年5月8日公表分から、データソースを従来の厚生労働省が把握した個票を積み上げたものから、各自治体がウェブサイトで公表している数等を積み上げたものに変更した。

※2 一部の都道府県においては、重症者数については、都道府県独自の基準に則って発表された数値を用いて計算しており、集中治療室（ICU）等での管理が必要な患者は含まれていない。

新規死亡者の推移



※ チャーター便を除く国内事例。令和2年4月21日公表分から、データソースを従来の厚生労働省が把握した個票を積み上げたものから、各自治体がウェブサイトで公表している数等を積み上げたものに変更した。

<感染状況について>

- 全国の新規感染者数は、東京を中心とした首都圏（1都3県）で年末にかけてさらに増加したことに伴い、増加傾向が続き、過去最多の水準となっている。
実効再生産数：全国的には1を上回る水準が続いている（12月19日時点）。東京等首都圏、愛知などで1週間平均で1を超える水準となっている（12月21日時点）。
- 年末年始も含め、首都圏、中部圏、関西圏では多数の新規感染者が発生しており、入院者数、重症者数、死亡者数の増加傾向が続いている。対応を続けている保健所や医療機関の職員はすでに相当に疲弊している。入院調整に困難をきたす事例や通常の医療を行う病床の転用が求められる事例など通常医療への影響も見られており、各地で迅速な発生時対応や新型コロナの診療と通常の医療との両立が困難な状況の拡大が懸念される。また、入院調整が難しい中で、高齢者施設等でのクラスターの発生に伴い、施設内で入院の待機を余儀なくされるケースも生じている。
- 英国、南アフリカで増加がみられる新規変異株は、世界各地で検出されている。国内では、海外渡航歴のある症例又はその接触者からのみ検出されている。従来株と比較して感染性が高い可能性を鑑みると、国内で持続的に感染した場合には、現状より急速に拡大するリスクがある。

【感染拡大地域の動向】

- ①北海道 新規感染者数は減少傾向が続いていたが、足下ではその傾向が鈍化。新規感染の多くは病院・施設内の感染。旭川市の医療機関および福祉施設内の感染状況は引き続き注意が必要。
- ②首都圏 東京都で新規感染者数の増加が継続し、直近の一週間では10万人あたり45人を超えている。医療提供体制も非常に厳しい状況が継続。救急の応需率にも影響が出始めている。また、病床確保のため、通常の医療を行う病床の転用が求められているが、医療機関の努力による対応が厳しい状況が生じてきている。保健所での入院等の調整も厳しさが増している。感染者の抑制のための実効的な取組が求められる状況にあり、感染経路は不明者が多いが飲食の場を中心とした感染の拡大が推定される。首都圏全体でも、埼玉、神奈川、千葉でも新規感染者数の増加が継続しており、医療提供体制が厳しい状況。
- ③関西圏 大阪では新規感染者数が漸減しているが、依然高い水準。医療提供体制が厳しい状況も継続。院内・施設内感染と市での感染が継続。兵庫でも感染が継続。医療提供体制が厳しい状況。京都、滋賀、奈良でも新規感染者数の増加傾向が継続。
- ④中部圏 名古屋市とその周辺で感染が継続。名古屋市は新規感染者数が高止まり、減少傾向が見られない。施設での感染に伴い65歳以上の高齢者が増加。医療提供体制及び公衆衛生体制の厳しさが増している。岐阜県でもクラスターの発生に伴い新規感染者数が増加。

※その他、栃木、群馬、広島、福岡、長崎、熊本、宮崎、沖縄などでも、新たな感染拡大や再拡大、多数の新規感染者数の発生の継続の動きが見られる。

＜感染状況の分析＞

- ・ 時短要請が行われている自治体のうち、北海道、大阪では減少がみられているが、東京では、感染拡大が続いており、年末まで人流の大きな低下がみられていない。東京では、飲食などの社会活動が活発な20—50才代の世代の感染が多く、少なくとも昨年末までの感染拡大では、飲食をする場面が主な感染拡大の要因となり、これが、職場や家庭、院内・施設内の感染に繋がっているものと考えられる。
- ・ こうした東京での感染拡大は、周辺自治体にも波及し、埼玉、千葉、神奈川とともに首都圏では、年末も新規感染者の増加が継続し、過去最高水準となった。直近1週間の新規感染者数は、東京都だけで全国の1/4を占め、1都3県で1/2を占めている。こうした、大都市圏の感染拡大は、最近の地方における感染の発生にも影響していると考えられ、大都市における感染を抑制しなければ、地方での感染を抑えることも困難になる。

＜必要な対策＞

- ・ 東京をはじめとする首都圏では、年末も新規感染者数の増加が継続。東京都のモニタリング会議でも、医療提供体制は逼迫し危機的状況に直面していると評価されている。1月5日の分科会の提言に基づき、早急に感染を減少させるための効果的な対策の実施が求められる。
- ・ 感染拡大が続き、医療提供体制、公衆衛生体制は非常に厳しい状況となっており、速やかに新規感染者数を減少させることが必要。併せて、現下の医療提供体制が非常に厳しく、こうした状況が続くことも想定される中で、昨年末にとりまとめられた「医療提供体制パッケージ」も活用し、必要な体制を確保するための支援が必要。
- ・ これまで大きな感染が見られなかった地域でも感染の発生が見られており、医療機関、福祉施設における感染も頻発している。特に急速な感染拡大により、医療提供体制の急速な逼迫が起こりうるため、宿泊療養施設を含め医療提供体制の準備・確保等を進めることが非常に重要。さらに、感染拡大が見られる場合には、飲食店の時短要請等の対策も検討する必要がある。
- ・ 感染拡大の抑制には、市民の皆様の協力が不可欠である。新年を迎え社会活動の活発化や新年会等も考えられるが、新年会の開催や参加を控え、買い物も混雑を避けていただくなど、人々が感染機会の増加につながる行動を変えていくことが求められる。また、そのためのメッセージを国・自治体等が一体感を持って発信することが必要。
- ・ さらに、国内の厳しい感染状況の中で、英国等で見られる変異株の流入による感染拡大を防ぐことが必要である。引き続き、変異株の監視を行うとともに、感染者が見つかった場合の積極的疫学調査の実施が求められる。また、変異株であっても、個人の基本的な感染予防策は、従来と同様に、3密の回避、マスクの着用、手洗いなどが推奨される。

直近の感染状況等

○新規感染者数の動向（対人口10万人（人））

	12/17～12/23	12/24～12/30	12/31～1/6
全国	15.22人（19,199人）↑	19.18人（24,205人）↑	22.24人（28,056人）↑
東京	32.19人（4,481人）↑	41.02人（5,710人）↑	53.90人（7,503人）↑
神奈川	22.28人（2,049人）↑	32.02人（2,945人）↑	37.29人（3,430人）↑
愛知	18.11人（1,368人）↓	22.07人（1,667人）↑	20.71人（1,564人）↓
大阪	22.66人（1,996人）↓	21.27人（1,874人）↓	26.40人（2,326人）↑
北海道	16.10人（845人）↓	14.86人（780人）↓	13.28人（697人）↓
福岡	15.97人（815人）↑	20.98人（1,071人）↑	23.67人（1,208人）↑
沖縄	11.77人（171人）↓	18.10人（263人）↑	21.06人（306人）↑

○検査体制の動向（検査数、陽性者割合）

	12/14～12/20	12/21～12/27	12/28～1/3
全国	314,999件↑ 5.9%↓	350,698件↑ 6.3%↑	216,103件↓11.0%↑
東京	65,182件↑ 6.5%↑	75,882件↑ 6.8%↑	42,661件↓14.1%↑
神奈川	26,911件↑ 6.7%↑	28,141件↑ 9.5%↑	18,588件↓16.0%↑
愛知	14,305件↑ 10.0%↑	17,075件↑ 9.0%↓	10,418件↓13.7%↑
大阪	26,617件↑ 7.9%↓	28,136件↑ 6.7%↓	18,482件↓10.0%↑
北海道	16,224件↓ 5.3%↓	18,545件↑ 4.1%↓	13,830件↓ 5.2%↑
福岡	14,746件↑ 5.1%↑	14,771件↑ 6.3%↑	10,296件↓10.3%↑
沖縄	3,706件↑ 4.5%↓	4,719件↑ 5.0%↑	4,239件↓ 6.0%↑

○入院患者数の動向（入院者数（対受入確保病床数））

	12/16	12/23	12/30
全国	10,047人（36.9%）↑	10,470人（38.1%）↑	11,585人（42.1%）↑
東京	1,987人（49.7%）↑	2,148人（53.7%）↑	2,457人（61.4%）↑
神奈川	453人（23.4%）↑	537人（27.7%）↑	550人（28.4%）↑
愛知	513人（54.9%）↑	518人（55.5%）↑	593人（63.5%）↑
大阪	975人（65.3%）↑	1,031人（66.9%）↑	1,040人（66.0%）↑
北海道	992人（54.8%）↓	926人（51.1%）↓	817人（45.1%）↓
福岡	216人（39.2%）↑	237人（43.0%）↑	351人（60.9%）↑
沖縄	191人（41.9%）↓	142人（30.3%）↓	153人（32.6%）↑

○重症者数の動向（入院者数（対受入確保病床数））

	12/16	12/23	12/30
全国	950人（26.6%）↑	1,017人（28.1%）↑	1,107人（30.6%）↑
東京	332人（66.4%）↑	343人（68.6%）↑	379人（75.8%）↑
神奈川	56人（28.0%）↓	57人（28.5%）↑	59人（29.5%）↑
愛知	35人（50.0%）↑	39人（37.9%）↑	39人（37.9%）→
大阪	219人（55.3%）↑	256人（64.5%）↑	259人（65.2%）↑
北海道	34人（18.7%）↑	31人（17.0%）↓	22人（12.1%）↓
福岡	12人（11.5%）↑	12人（11.5%）→	16人（15.2%）↑
沖縄	19人（35.8%）↓	15人（28.3%）↓	20人（37.7%）↑

※ 「入院患者数の動向」は、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況、病床数等に関する調査」による。この調査では、記載日の0時時点で調査・公表している。
重症者数については、8月14日公表分以前とは対象者の基準が異なる。↑は前週と比べ増加、↓は減少、→は同水準を意味する。

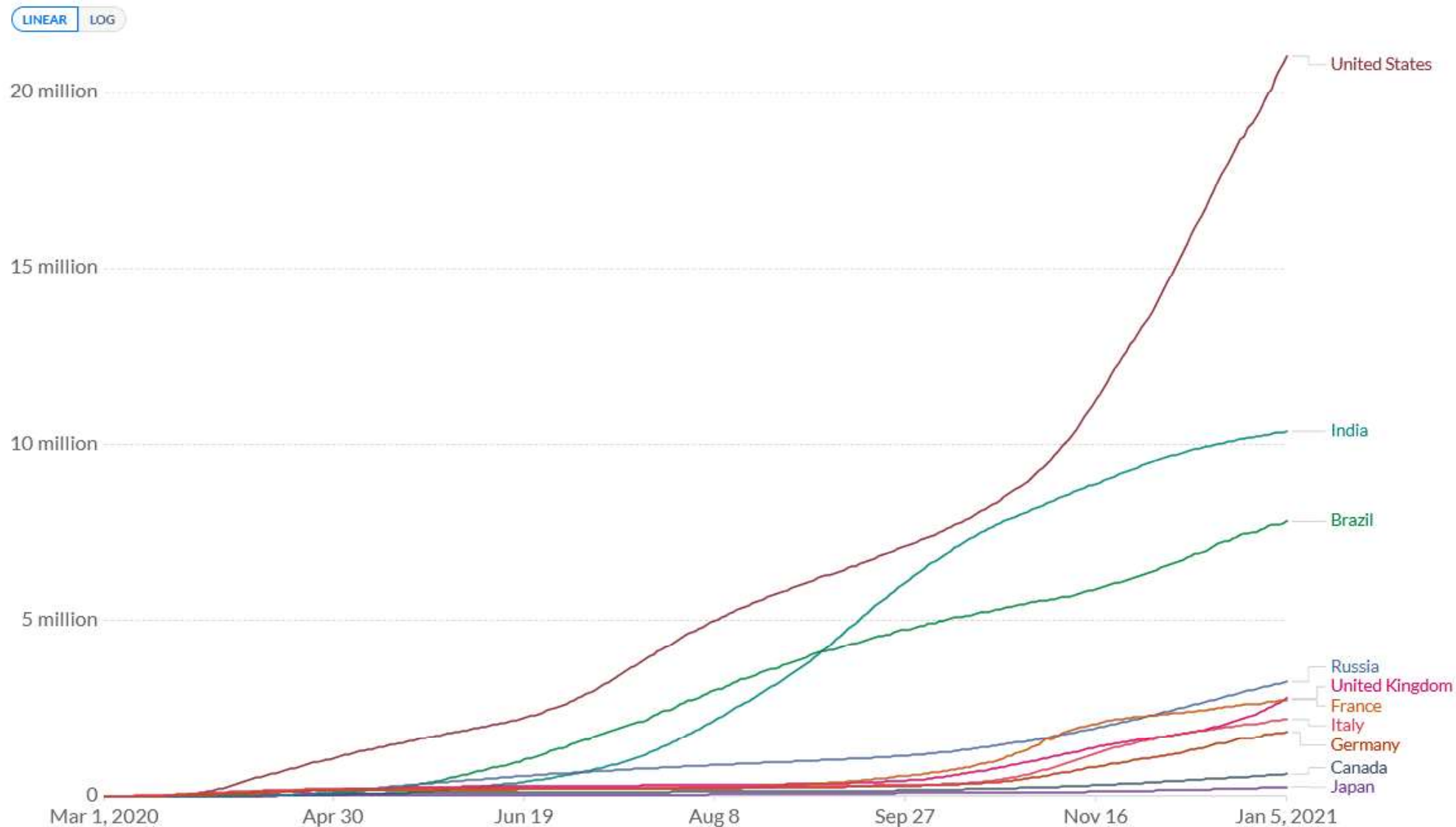
各国の直近の感染状況等 (累積感染者数)

参考資料

Cumulative confirmed COVID-19 cases

The number of confirmed cases is lower than the number of actual cases; the main reason for that is limited testing.

Our World
in Data



Source: Johns Hopkins University CSSE COVID-19 Data - Last updated 6 January, 06:06 (London time)

CC BY

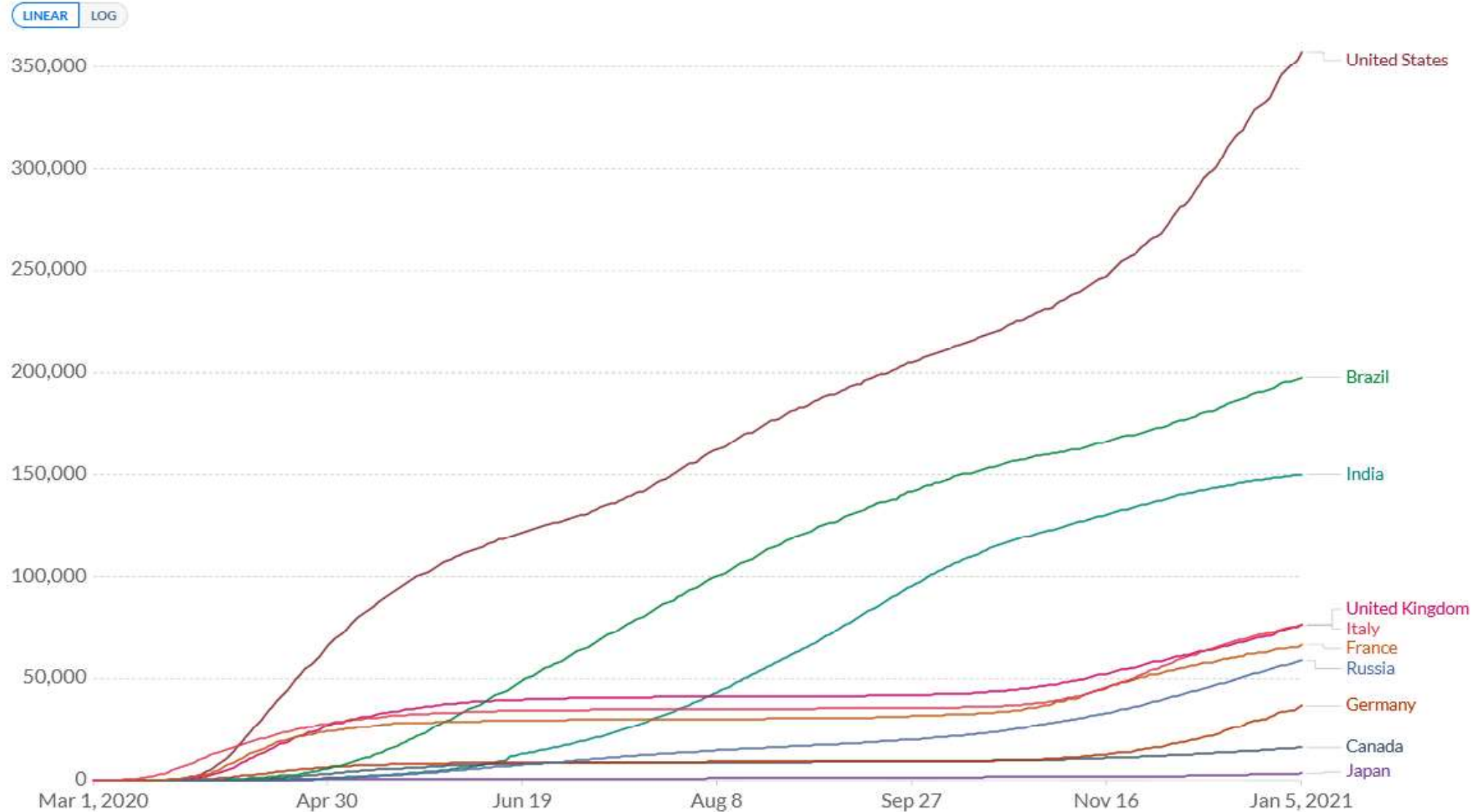
各国の直近の感染状況等 (累積死亡者数)

参考資料

Cumulative confirmed COVID-19 deaths

Limited testing and challenges in the attribution of the cause of death means that the number of confirmed deaths may not be an accurate count of the true number of deaths from COVID-19.

Our World
in Data



Source: Johns Hopkins University CSSE COVID-19 Data - Last updated 6 January, 06:06 (London time)